

会議録

会 議 名	第 4 回八王子市再生可能エネルギー導入検討会	
日 時	平成 2 5 年 2 月 2 6 日 (火) 午後 6 時 3 0 分 ~ 8 時 4 0 分	
場 所	八王子市役所 本庁舎 第 6 委員会室	
出席者氏名	委 員	本藤祐樹、白井信雄、安藤広和、今井雅晴、遠藤尚孝、栗田和仁、富永一夫、奥田さが子、三浦すみえ
	事務局 (説明者)	八王子市：渡辺環境部長、佐藤環境政策課長、平井環境政策課主査、鈴木環境政策課主任 環境自治体会議：増原直樹、池谷智晶
欠 席 者 氏 名	中島裕輔	
議 題	(1) 今後の方針等について (2) 導入プロジェクトのイメージについて (3) その他	
公開・非公開の別	公開	
非 公 開 理 由		
傍 聴 人 の 数	1 0 名	
配 付 資 料 名	次第、 資料 1：再生可能エネルギー導入にかかる方針策定方法 資料 2：八王子市再生可能エネルギー導入検討報告書構成案 資料 3：再生可能エネルギー導入にかかる事業等の報告 資料 4：再生可能エネルギー導入の参考事例 資料 5：長野県飯田市の太陽光発電導入について 資料 5 補足：長野県飯田市の太陽光発電導入について 資料 6：市内における導入プロジェクトのイメージ 参考資料：検討会委員からのご意見、ご提案	
会議の内容	開会にあたっての挨拶 【本藤座長】 第 4 回八王子市再生可能エネルギー導入検討会を開始する。 (事務局より配布資料について概要を説明) 【本藤座長】 それでは議事に入りたい。今日の議事は大きく 2 つで、前回の検討会の確認等と導入プロジェクト検討である。 議事 (1) 今後の方針等について (事務局より資料 1、2、3 に従い説明) 【事務局 (平井)】 市施設への太陽光発電装置設置事業の詳細は 3 月議会で報告させていただいたため、本検討会では次回説明させていただきたい。 【栗田委員】 本検討会では方針をつくるところまでで、この後何か計画を作る予定なのか。	

【事務局（佐藤）】 本検討会で報告書をまとめていく。

【栗田委員】 今回の検討は温暖化防止からきている内容だと思うので、この内容が温暖化対策の計画に寄与していないといけなのではないか。温暖化対策については削減目標等が掲げられているため、本検討でも目標設定が必要では。また、環境推進会議で報告されれば市民によるチェック体制にもなるのでは。

【事務局（佐藤）】 目標設定については、電気であればある程度把握しやすいが、熱は非常に難しい。どういう形にするかは考えないといけませんが、何らかの目標はつくりたくないといけなく考えている。

【栗田委員】 再生可能エネルギーはFIT（固定価格買取制度）に支えられている。しかし、それを知らない市民も多い。そういった情報を持っていない場合に、見方によっては不公平だと思ってしまう市民もいると思う。FIT制度について市民にも理解してもらうよう、説明をする必要があるのではないか。

【事務局（平井）】 プロジェクト自体がFITの活用というものもあるが、そうではなく市施設として自費で行うものもある。それも踏まえ、次年度以降検討していきたい。

【白井副座長】 成果物のイメージについて確認だが、今回プロジェクトのイメージを作るが、実現する方法や実現を担保するものはあるのか。

【事務局（佐藤）】 ここで議論はしていただきたいが、それがそのまま市の事業として実施できるとは言えないと考えている。色々な事業でメリットも課題もあるため、今後検討させていただきたい。

【白井副座長】 実現の仕方は市で引き取って考えたいということか。せっかく市民や地域の事業者が集まって議論しているので、その後も市だけで考えるのではなく、市民や地域の事業者もいっしょに考えることが必要では。

【今井委員】 再生可能エネルギーについて何か進めるとなると、お金が必要になる。お金がない中で屋根貸しという事業を実施されたと思うが、25年度については補助金や資金の考え方を打ち出してもらい、できるもの・できないものを議論していく必要があるのでは。今の時期は25年度の予算が出ていると思うので、その部分を明確にしていきたい。

【事務局（平井）】 この検討会については次年度も引き続き実施していきたいと思っており、以降に市の方針を策定するという流れのため、平成25年度予算に新たな事業は含まれていない。25年度は今までと同じ、継続事業としていく予定である。

【富永委員】 25年度は他の事業はないが、26年度はあり得ると

いうことか。

【事務局（平井）】 その通りである。

【遠藤委員】 資料 3 の再生可能エネルギーの報告だが、太陽熱や木質バイオマスについてはほとんど検討されていないということか。

【事務局（平井）】 庁内検討会では屋根貸し事業の報告が主となっていたため、太陽光が項目として多くなっている。他の再生可能エネルギーについても今後検討していく。

【本藤座長】 この内容でよろしいか。

【委員】 異議なし。

（ 2 ）導入プロジェクトのイメージについて

（事務局より資料 4～6 に従い説明）

【事務局（平井）】 参考資料について委員よりご説明いただきたい。

（遠藤委員、奥田委員、三浦委員より参考資料に従い説明）

【本藤座長】 まず、お気づきの点などあればご発言ください。

【白井副座長】 太陽熱の話で、太陽熱パネルを提案されているが、パッシブな太陽熱利用（OM ソーラーなど）についても検討してはどうか。効果を高めるということが重要で、効果というのは事業上の採算だけでなく、環境教育、地域活性化などもある。市が得た売電収入を活用して地域に還元する環境教育というのものもあるのではないか。

【事務局（平井）】 ご意見として頂戴したいと思う。

【白井副座長】 事業単体で事業モデルをつくるのも良いが、地域ごとのモデルをつくることも良いし、バイオマスについては供給も含め全体で考える必要があり、組合せ型の事業イメージを作っていくことも必要ではないか。多様なものをみていった方がいいかなど。

【本藤座長】 組み合わせモデルは次回検討される内容なので、今のご意見を反映して資料作成いただきたい。

【今井委員】 八王子市の中で使用済みの廃油に関する取り組みもされており、市内でも BDF を製造しトラックで使用されているが、その可能性についてはどうか。

【事務局（佐藤）】 使用できる車が 4 台あって、稼働している。車がハイブリッド化している状況で、BDF が適用しにくい状況になっている。だからやめるというわけではないが、活用方法を考えていかないといけないと思っている。

【事務局（渡辺）】 BDF の油は給食の廃油を 18 校から月 2 回程度持ってきて、清掃工場の職員が精製している。職員の体制や廃油量からも 4 台の車両分をつくるというのが精いっぱいかなど。

【今井委員】 車を動かすということについては、私自身も自分で車を改造して使っていたのでわかる。発電機を動かすことを 10 年間試

験し、使用できている。小中学校の屋根貸しで非常用電源に太陽光というのは不安定でやりにくい部分もあるので、BDF を使ってディーゼルエンジンを動かすというのは理に適っている。小型の機械もある。家庭から出てくる廃油がそのまま捨てられている現状があるので、PTA も巻き込み、うまく回収できる場として小中学校は良い。市で既に取り組んでいることなので、一步先へ進んでいただければと思っている。

【事務局（佐藤）】 勉強させていただきたい。

【事務局（渡辺）】 可能性はあるが、家庭から安定的に学校経由で集めるというのはなかなか難しいのではないかと。

【安藤委員】 太陽熱について確認だが、太陽熱利用で公共施設への設置について考える場合、熱は単独では使い切れないケースが多いので、地域で面的に融通していくことも、まちづくりの段階から考えていく必要があるのではないかと。道路にパイプを埋めることも隣接エリアならできる。もうひとつ、住宅等におけるプロジェクトについて、世田谷の例もあったが、熱利用はマンションについては勢いがついてきたように感じる。八王子市の中で市民参加型というのがどう特色を出していくのか、イメージがわきにくい。

【事務局（平井）】 熱利用について八王子らしさを出すのは難しい問題だと認識している。この場でみなさんにご意見いただきたいところである。

【事務局（佐藤）】 マンションで太陽熱を設置する動きというのは具体的にありということか。

【安藤委員】 色々なところで出てきている。マンションと太陽熱というのは親和性があるのでないか。増えてきていることは事実。

【富永委員】 多摩市のマンションの屋根貸しを民間公募で動いている人がいて、市民ファンドを募集しているという話があるが、今どのような状況で、実現可能なのか等の情報があれば教えてほしい。もうひとつ、長池公園にある自然館にはパッシブソーラーが入っている。ソーラーパネルも入っている。ただ、なかなか検証が難しい。できあがったものが八王子市に移管されているので、設計値と実効値の検証が難しい。調べる手段が気になっている。調べる経費がかかるので、それがあれば調査してみたい。市の財産なので、検証してみてもどうか。

【事務局（平井）】 多摩市の件は次回の検討会で報告させていただく。パッシブソーラーについても次回までに調べてみる。

【遠藤委員】 資料6のイメージが実現に向かって進んでいくと思うが、財源の部分で補助制度ということが書かれている。どういう財源

を使っていくのかということは調べられているのか。

【事務局（平井）】 財源については国で補正予算を措置したり、当初予算を制度設計されていると思う。補助も幅が広く、省庁がまたがっているものもあり、実施主体としての参加の仕方も色々であり多岐にわたる。現時点でどの補助を活用するというのはみえていない。今後情報収集し、それぞれのプロジェクトを進めていく中でタイミングが合えば補助を活用していきたい。

【遠藤委員】 先週金曜に24年度補正予算の公募があり、応募した。継続して25年度にも木質バイオマス、太陽光についてかなりの予算が準備されているので、市でも大変だと思うが、準備してはどうか。

【本藤座長】 今すぐにでも補助金を使って進めてはどうかというご意見だと思うが、いかがか。また、検討会の話からずれてしまうが、将来的に補助金は変わっていくであろうが、現状でどのような補助メニューがあるのかということを整理しておいてはどうか。

【富永委員】 25年度の予算の概要は公式に発表されている。24年度の補正についてはもう動き出すが、25年度の方はこれから審議される。7月以降には使えるようになると思うので、リストアップは可能だろうが、今から準備して25年度中に補助を使うことは難しいと思う。ただ、どういう補助金があるかというリストアップは必要かなと思う。

【遠藤委員】 24年度の補正予算は使い切れず、複数年の期間になるようだ。実際、今持っている資料では25年度から29年度が対象となっている。国としても使い切れないという考えがあるので、情報だけは押さえておく必要がある。

【白井副座長】 バイオマスについて、京都では町屋を借りてペレットストーブ展示などをしている「ヒノコ」というところがある。街中にそういう場所があることで、今まで関わりがなかった人が知る機会になる。八王子市でも駅にそういったものをつくと良いのでは。もう一点、おひさま進歩の例についても補足したい。この取り組みは最初の立ち上げのときにはNPOで小さく始めたもの。想いで始めたことが大きく広がっていったということを捉える必要がある。その後大きな取り組みになっていったのはノウハウのあるところとの連携があったため。ビジネスとしてはエスコ事業の方が大きい。市民出資だけでは大変という認識は必要。ただ、当時とは設置価格が違うので、採算はとりやすくなってきている。かといって、儲けやすいという事業ではない。市民出資はひとつのやり方としては重要だが、一部を市民出資として市民参加の場とするなどの考え方が必要。

【本藤座長】 これで年度末に向けて報告書に仕上げていくことにな

るが、優先して考えていきたいことや、重要なところなど濃淡をつけた方がよいのではないかと。委員のみなさんによって濃淡は異なると思うので、ご意見をいただきたい。

【栗田委員】 八王子は自然が豊かなところが長く住みたい理由として挙げられるが、豊かな自然を生かしきれていないというのが現状。太陽光などはどこでもできるが、広大な緑を活用することが八王子らしさになるのではないかと。

【富永委員】 八王子らしさというのは総称的には緑が多いから住み続けるといった意見がある。多摩ニュータウンでもそうであろう。だが、そこにペレットストーブを持ち込むというわけにもいかない。都市計画マスタープランにならって、最低6つくらいの地域で適した方法を考えることが必要では。身近なところで意見を出し合ってはどうか。

【今井委員】 八王子らしさという部分で考えると、エネルギーの多様化をはかっていくことが必要では。小さなエネルギーを積み重ねていって、公共のエネルギーをいかに削減できるか、それがスマートグリッド。色々なエネルギーをつなぎ、持続可能なライフスタイルをつくること。エネルギーの自給ができるような家など、色々なアイデアを入れて持続可能なライフスタイルの見本をつくったらおもしろい。太陽光というのが一番間近にあって、市民発電プロジェクト的なものを作りあげていこうという地盤があり、八王子に合ったモデルをつくりあげる、ということができればベストだと思う。

【三浦委員】 飯田に行ったときにエコハウスを見学してきた。そういうものを美山などいくつかの地域につくり、全国から見学者を呼べるようなところをつくと、観光産業もつくれるのではと思った。

【奥田委員】 おおりの家はひとつの候補になると思う。小水力もバイオマスも太陽熱も可能性があるので、そういった具体的なものを考えていきたい。とりあえず公共施設への設置、ミニ公募債というのを先導しながら市民ファンドの立ち上げも進めながら、おおりの家で進めてみてはどうか。

【遠藤委員】 木質バイオマスについては1年ほど前から進めてきているので、木質バイオマスを優先していただくとありがたい。美山の工業団地に、ペレット製造工場の東京ペレットを誘致することを検討してきている。この検討会の中でも前向きに進めていただくとありがたい。法令的なことなどはクリアできているので、周辺環境を整えることができれば比較的早く実現できると思う。

【富永委員】 分譲マンションでは10~20年に一度は大規模修繕があるので、民間のマンションが修繕のタイミングで市からの支援があれば修繕費にプラスして太陽熱を入れるという方法もあるのでは。

【白井副座長】 時代が動いているので、先をみて 10 年くらいの間で何をどう実現していくのかという議論が重要だが、電力の小売り、自由化で電気を作って売ることも視野に入れてはどうか。

【本藤座長】 色々なご意見をいただいたが、事務局の方から方針はあるか。

【事務局（平井）】 富永委員から都市計画マスタープランの話があったが、ちょうど改訂のタイミングになっている。27 年から今後 20 年を見据えた取り組みということで動いている。再生可能エネルギーの検討もしているということの中で発信している。エコまち法という新たな法律が施行されたこともあり、面的なまちづくりの一環として環境という立場から発信していきたいと考えている。それから、議論の中でおおりの家という具体的な名前が出てきたが、試算のモデルケースとして挙げたものということでご理解いただきたい。

【本藤座長】 貴重なご意見を文字として残すことが重要なので、どのように資料に反映していくかを考える必要がある。導入プロジェクトのイメージとして資料 6 をご準備いただいたが、委員のご意見を資料 6 に全部落とし込むのは難しいのかなと思う。例えば、自由形式で色々出たご意見を付け加えるのはいかがか。皆様方の方で、こういうものがあつたらいいなというのを出していただいて、報告書の中に入れてはどうか。きれいにはまとまらないかもしれないが、多様な意見を入れるのが良いのでは。委員の皆様に入れてほしい内容を具体的に出していただくことが必要であり、かつ事務局側には出てきた意見をまとめていただく必要があるが、どうか。

【事務局（平井）】 皆様からぜひご意見いただきたいと思うので、よろしくお願ひしたい。

【事務局（渡辺）】 今までの話の中でミニ公募債の話が出た。過去にみどりの公募債もやっているためできると思うが、ある意味では面白味もないかなと思う。実施主体を行政だけでなく変えてみるのもいいのではないか。ペレットについても良いと思っているが、この燃料の普及、需要はどのくらいあるのかということ、それに対して安定的に供給できる資源はあるのか、供給ルートはどうなるのかなど不安があり、そこが見えてくれば八王子の考え方として前面に出せるのかなと思う。

【富永委員】 私は事務局の立場と自分の想いからすると、事務局的には資料 6 くらいのをまとめるのが精いっぱいかなと思う。ただ、自分の想いとしては委員側の提案というまとめがあつてもいいのかなと。事務局案とは別に、委員提案という形はどうか。

【白井副座長】 報告書の構成案だが、他にも事業主体になり得る事

	<p>業者がいると思うが、色々な事業主体が参加できるような仕組みが大事なのかなと。事業プランや事業イメージに加えてプロジェクト実現のための仕組み、条例は難しいと思うが、そういったことも言えるといいなと思う。せめて実現のための検討課題を挙げて庁内委員会で議論していただくことでも良いかもしれない。</p> <p>【本藤座長】 最後に課題については触れておいた方がよいと思う。</p> <p>(3) その他</p> <p>【事務局(平井)】 次回は3月27日18時半から同じ場所で検討会を開催する。今年度の最後となるので、複合的なプロジェクトや報告書の内容についてもご意見をいただきたいと思う。個人の意見をそのまま報告書に掲載することはなかなか難しいかもしれないが、この会の意見として出していただいて、まとめる形が良いのかなと思う。ご意見をメールでいただきたいと思うが、3月6日頃までにいただけるとありがたい。報告書については一度メールでお示ししたい。通常の事前配布よりもはやくお送りしたいと思うので、ご確認いただきたい。</p> <p>【事務局(佐藤)】 今回開催にあたり傍聴の件でご心配をおかけした。市民の方にご参加いただきたいとは思っているが、会場の関係から制限があるため事前申し込みとさせていただいた。次回については3月22日までに申し込みいただければ25日までにご連絡差し上げる。</p> <p>【三浦委員】 今日は10人いるが、申し込みを断った人もいるのか。</p> <p>【事務局(佐藤)】 今回はいない。</p> <p>【三浦委員】 事前申し込みが壁になるのかなと。座れる椅子はないとか、資料はないとか、納得していただいて会議の様子を見聞きしていただくということで入室を許可することはできないか。</p> <p>【事務局(渡辺)】 入口でそのような対応をすることで、それ自体に時間も要してしまう。会をスムーズに進めるためにこのような対応とさせていただきたい。人数については柔軟に対応したい。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
会議録署名人	平成25年3月27日 署名 本藤 祐樹